



SUHADA
ONE®



第71期
株主通信

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

ブラに 欲しいもの、全部 ひとつに。



新感覚。フレームひとつで、あがるブラ。

日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、中期経営計画の最終年度となった2019年3月期において、次の中期経営計画期間における成長軌道への回帰を実現すべく、事業効率を高める基盤整備の完了と、成長が期待できる事業領域への投資に取り組みました。

株式会社ワコールでは、組織再編を進めた卸売事業の経営効率とブランド価値を高めた小売事業の収益性を向上し、また、オムニチャネル戦略の一環として、3DボディスキャナーやAI(人工知能)を活かした接客サービスの導入準備を完了しました。

海外事業では、高い成長が続いているウェブ通販チャンネルに対応した事業体制を強化しました。また、地域特性に合ったブランドポートフォリオ政策を進め、中国や北米、ユーロ圏で「Wacoal」に次ぐ、第2の柱ブランドが育ちつつあります。一方、タイの材料工場では構造改革に時間を要す結果となりました。

さらには、持続可能な発展を実現する取り組みにも注力しました。製造委託先とCSR調達ガイドラインに沿った協働を行い、人権や労働慣行などの遵守状況を把握・是正・向上する一連のサイクルの運用に努めました。

当社は、引き続き「グループとして世界のワコールを目指す」という将来像を掲げ、経営資源やグループのネットワークを最大限に活用し、常に先駆的な商品を世界市場に提供できるよう努めてまいります。同時に、下着文化の領域を開拓し続けることを通して、ワコールグループの商品やサービスに対して、また、社会的な課題への取り組みに対しても、世界のステークホルダーから高い信頼を獲得できるよう尽力してまいります。

株主・投資家の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2019年6月

株式会社ワコールホールディングス

代表取締役社長

安原弘展

ご寄付についての報告

ワコールグループは乳がん早期発見・早期診断・早期治療を推進する「ピンクリボン活動」を支援しており、その一環として、公益財団法人日本対がん協会「ほほえみ基金」へ寄付を行っております。

2005年からは株主さまにもご参加いただける支援活動として、ご優待としてお送りした商品券「ワコールエッセンスチェック」をご寄付としてご送付いただいております。

株主さまからお寄せいただいた2018年度のご寄付は次のとおりです。

※なお、当社グループでは、株主の皆さまからご寄付いただきました上記の金額と同額を、日本対がん協会に寄付しております。(マッチングギフト方式)

寄付先

公益財団法人
日本対がん協会
「ほほえみ基金」

株主さまからのご寄付件数および金額

2018年4月～2019年3月末

661件 | 1,622,500円

ご賛同いただきました株主の皆さまには、心より感謝を申し上げます。

第71期定時株主総会決議結果について

2019年6月27日(木曜日)に開催いたしました当社第71期定時株主総会の決議結果につきましては、当社ホームページに掲載させていただいております。

URL

<https://www.wacoalholdings.jp/ir/soukai.html>

当期の売上高は、前期に比べおよそ15億円、0.8%の減少となりました。営業利益は、前期に比べ66億円、57.6%の減少、税引前当期純利益は、前期に比べ121億円、84.6%の減少となりました。

当社は米国会計基準を採用しており、「のれん及びその他の無形固定資産の減損損失」を営業費用として計上する必要があります。これを受けて、営業利益は大きく減少する結果となりました。

また、米国会計基準の改正に伴い、当期より「有価証券・投資評価損益」を、その他の収益・費用として計上することになりました。その結果、およそ56億円の評価損失を認識し、税引前当期純利益も同様に大きく減少しました。

以上の実績から、当社株主に帰属する当期純利益は、前期に比べ94億円、96.5%の減少となり、また、当期の売上高営業利益率は2.5%、ROEは0.2%の水準となりました。

しかしながら、キャッシュフローの減少を伴わない、一連の減損損失と有価証券の評価損失を考慮しなかった場合の、実質ベースでの営業利益と税引前当期純利益の水準は、それぞれ107.1億円、136.1億円となり、期初の業績予想に掲げた、営業利益100億円、税引前当期純利益130億円を上回って終了しました。また、この結果から実質ベースでの営業利益率は5.5%、ROEは4.2%の水準となりました。

売上高につきましては、EC販売が拡大した中国、改装工事が活況だった七彩が大きく伸びた一方、百貨店で苦戦した株式会社ワコールの国内卸売事業の伸び悩みと、市場変化への対応が遅れたルシアン、Ai(アイ)、ピーチ・ジョンら、国内連結子会社の減収が響きました。

営業利益は、株式会社ワコールが、過去最高水準の売上利益率の寄与により増益で終了し、海外も増収効果で増益となりましたが、ピーチ・ジョンに係る「のれん及びその他の無形固定資産の減損損失」を計上したことが影響する結果となりました。

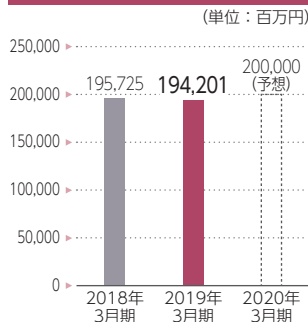
ピーチ・ジョンについては、過去数度に亘りのれん等の減損損失を計上しました。その後、ブランドイメージの転換と商品開発力強化を図るとともに、店舗とECに資源投下し海外事業の拡大を加えて成長する計画としましたが、収益が回復しませんでした。現時点での今後の業績見通しから、のれん及び商標権の公正価値を再評価した結果、56.4億円の減損損失を計上するに至りました。

「ピーチ・ジョン」は、ファッション性の高い日本発ブランドとして認知度が高く、将来的にはアジア市場で「クール・ジャパン」のひとつに数えられる可能性も秘めています。消費者の意識と時流の変化を捉えながら、これまでとは異なる大胆な挑戦を実行することで、再生に取り組んでまいりたいと考えています。

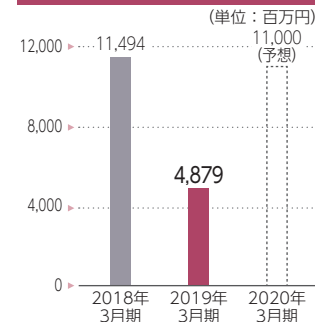
詳しくは当社ホームページより

「2019年3月期連結決算短信」をご覧ください。

売上高



営業利益



税引前当期純利益



当社株主に帰属する当期純利益



2020年3月期の見通し

- 売上高 2,000億円 (前期比 3.0%増)
- 営業利益 110億円 (前期比 125.5%増)
- 税引前当期純利益 120億円 (前期比 444.7%増)
- 当社株主に帰属する当期純利益 90億円
- 年間配当金 1株当たり 80円 (予想)
※中間・期末とも1株当たり40円 (普通配当36円、記念配当4円)

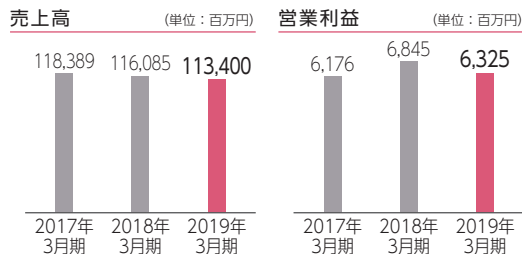
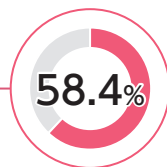
前提となる主要為替レート

- 1米ドル = 110円
- 1英ポンド = 145円
- 1中国元 = 16.5円

■ オペレーティング・セグメントの営業概況

ワコール事業（国内）

当該セグメントの売上高は、前期に比べ2%の減少となりました。株式会社ワコールの卸売事業は、「ワコール」「ウイング」ブランドともに快適性と造形性を両立する高付加価値商品の開発により、主力アイテムのブラジャーが堅調に推移しました。しかしながら、百貨店を中心に展開するナイトウェアやマタニティ、ジュニア向けインナーウェアの苦戦と、「CW-X（シーダブリューエックス）」ブランドの不振が響き、減収となりました。小売事業は、ワイヤレスブラジャー「BRAGENIC（ブラジェニック）」が年間を通じて大きく伸長し全体をけん引しましたが、収益性改善に向けてセール販売を縮小したことに加え、購入ポイントが貯まる顧客のロイヤリティプログラムにおけるポイントの有効期間延長等に伴い、売上高の減少として計上する金額が拡大したことから、微増収にとどまりました。株式会社Ai（アイ）は主力の水着事業が最需要期である夏場に苦戦した結果、前期を18%下回りました。

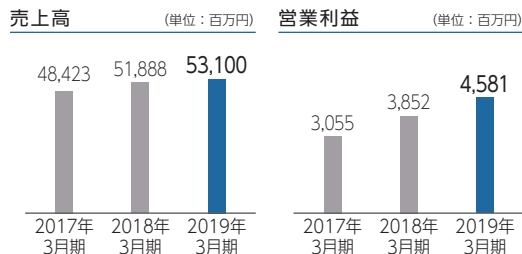
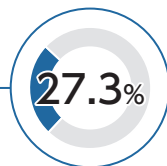


営業利益は、前期に比べ8%の減少となりました。株式会社ワコールは売上利益率の改善が寄与し営業増益で終了したものの、前期に子会社工場用地の退去に伴う一時的な補償金収入を計上した反動が影響しました。

ワコール事業（海外）

邦貨換算後の当該セグメントの売上高は、前期に比べ2%の増加となりました。現地通貨ベースの売上高については、前期に比べてワコールインターナショナル（米国）は1%の減収、ワコールヨーロッパは2%の増収、中国ワコールは10%の増収となりました。米国は、自社・他社ECを通じた販売が好調でしたが、百貨店（実店舗）での店頭販売の苦戦と、一部百貨店の経営破たんによる閉店などが影響しました。ヨーロッパは、英国百貨店の経営悪化による在庫調整等の影響があったものの、豊満体型女性向けブランド「elomi（エロミ）」の好調と相まってEC販売が大きく伸長しました。中国は、顧客データマーケティングの強化と物流体制の増強を行い、他社ECでの成長を加速しました。また、需要期の販促強化が奏功した百貨店も順調に推移しました。

邦貨換算後の営業利益は19%の増加となりました。中国は増収効果に併せて、在庫効率の向上やEC売上比率



の高まりによる売上利益率の改善が寄与しました。また、英国での希望小売価格の見直しや不採算直営店の閉鎖に加えて、ベトナム工場の生産性向上や、タイの材料工場に係る資産売却益と前期に計上した一時的な減損損失の反動もあり、増益となりました。



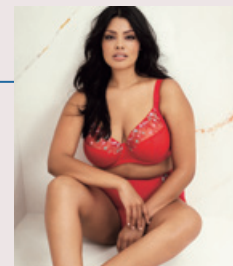
ウイングブランド「ときはなつブラ」



小売事業
「BRAGENIC（ブラジェニック）」



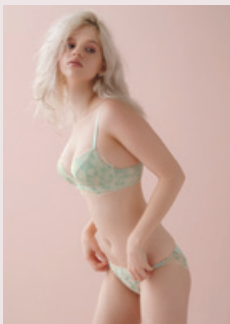
米国ワコール ワコールブランド



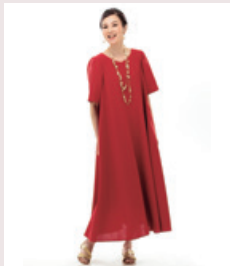
ワコールヨーロッパ「elomi（エロミ）」



ピーチ・ジョン カタログ



ピーチ・ジョン ナイスパディブラ



ルシアン [BELLADESSO (ベラデッソ)]



七彩 什器システム [NPS-plus-BK]

ピーチ・ジョン事業

当該セグメントの売上高は、前期に比べ3%減少しました。市場動向の変化に対応する商品開発とチャネル開拓に努めたものの、国内店舗事業の来店数拡大につながらず、また自社ECも振るいませんでした。一方、2017年5月に営業を開始した台湾では、イベントやブログを活かしたブランド認知の拡大により、当期は34%の増収となりました。

営業利益は、国内の減収影響と、競合の攻勢による中国事業の伸び率鈍化に加えて、販売員確保に関わる人件費や物流費の上昇のほか、本社オフィスの移転に伴う一時的な費用発生を受けて2.2億円の営業損失となりました。加えて、のれん及びその他の無形固定資産の減損損失(56.4億円)を計上しました。

その他の事業

当該セグメントの売上高は、前期に比べ2%の増加となりました。ルシアンは売上高は、主力のインナーウェア事業が量販店PBの採用品番数の縮小を受けて苦戦したほか、マテリアル事業、アート・ホビー事業、アパレル事業ともに振るわず、前期を10%下回りました。一方、七彩の売上高は、大手百貨店の本店改装に加えて新規の内装工事が獲得できたため、前期に比べ工事事業が大きく伸長し、併せて物販事業も大きく拡大した結果、14%の増加となりました。

営業利益は、七彩が工事事業比率の高まりにより売上利益率は低下したものの、増収効果から増益となりました。しかしながら、ルシアンは営業損失を補うには至らず、当該セグメントの合計は営業損失となりました。

●2020年3月期～2022年3月期 経営目標

当社は、引き続き「グループとして世界のフコールを目指す」という将来像の実現に向けた取り組みを高めてまいります。グループの商品やサービスに対してだけでなく、社会課題への取り組みに対しても、世界中の株主・投資家の皆さまをはじめとするステークホルダーから、高い信頼が得られる事業展開を進めていきます。

今年度(2020年3月期)より、新しい3か年の中期経営計画をスタートさせています。ステークホルダーの期待に照らし、当社にとって重要性の高い経営の成果目標を以下の3つに定めました。

- 国内外ともに力強い成長軌道を示す
- 成果の乏しい事業やブランドの将来性を検証し、聖域なきグループ事業構造の見直しと改革を進める
- 経済的価値と社会的価値の双方を向上し企業価値を高める

これらを軸にして、当社の強みたる顧客サービスをデジタル技術で進化させた、競合が追従できないオムニチャネル政策の実行や、制度疲労を起こしている事業モデルの改革、競争優位性あるサプライチェーン網の確立など、個々の事業課題への対応を、スピード感を持って進めます。

事業活動を通じた収益性の改善と資本効率の向上に併せて、株主の皆さまへの還元については、安定的な配当と機動的な自己株式の取得を行い、(米国会計基準では損益計算書のその他の費用として認識される)有価証券・投資評価損益影響を除く、実質ベースでの総還元性向100%の維持に努めます。このほか、事業の持続的成長を支える投資を優先しながら、適宜、政策保有株式の縮減を進めることで、適正なキャッシュバランスを築いていきます。

こうした取り組みを通して、最終の会計年度となる2022年3月期に、売上高2,100億円、営業利益140億円(営業利益率6.7%)、当社株主に帰属する当期純利益120億円、ROE6%超の達成を計画しています。

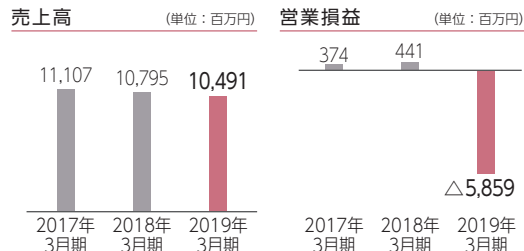
売上高	2,100億円
営業利益	140億円(営業利益率6.7%)
純利益	120億円
ROE	6%超

詳しくは当社ホームページより「中期経営計画 説明資料」をご覧ください。

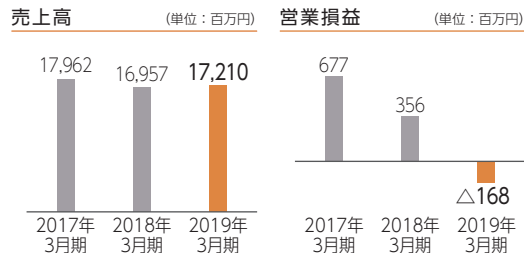
URL

<https://www.wacoalholdings.jp/ir/library/>

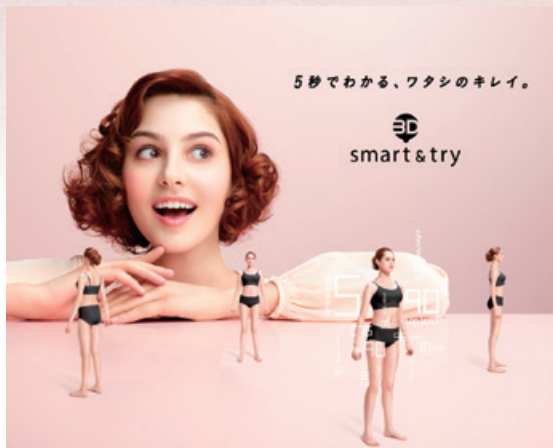
5.4%



8.9%



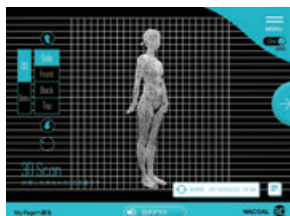
Wacoal News



「深く、広く、長く」お客様とつながるために

インナーウェア体験の未来を創る 接客サービス「3D smart & try (スマート アンド トライ)」を開始

株式会社ワコールは、お客様満足度の向上をめざし、デジタル技術を活用した「3D smart & try(スマート アンド トライ)」の提供を開始しました。ワコール独自の3Dボディスキャナーと接客AI(人工知能)により、サイズ、体型、お悩みや、お好みのデザイン、シルエットに対応した商品を提案することで、お客様がストレスなく、自分の望むスタイルでの下着選びが体験できる新しいサービスです。



3Dボディスキャナー

わずか5秒でバストの周径や体積をセルフで計測し、胸の形状や体型の特徴を判定。タブレットで体型分析や過去のデータとの比較などに活用いただけます。



接客AI

商品知識や接客のノウハウを学んだ人工知能。店内のタブレットが、お客様と自然な対話を行いながらおすすめの下着を提案します。

この新しい接客サービスは、今後さまざまなチャネルの店舗に展開し、お客様との対話から、よりパーソナライズな情報を学習しながら、未来に向けて顧客体験を変えていきます。

ワコールは、お客様一人ひとりに寄り添い、「深く、広く、長く」つながる環境を創造し、競争優位性の強化を図ります。

次世代インナーウェアショップ 『ワコール3D smart & try』オープン

2019年5月30日、東急プラザ表参道原宿に『ワコール3D smart & try』がオープンしました。上記の新しい接客サービスを体験できるショップとして注目を集め、多くのお客様が訪れました。



Topics

ワコールグループの旬な話題をピックアップ

いま一番注目のアイテムをご紹介します。

■ ワコール

『朝の谷間、ながもち、リボンブラ。』 水原希子さんがアンバサダーに就任

2010年の発売以来、累計販売枚数410万枚*を突破した『朝の谷間、ながもち、リボンブラ。』アンバサダーに女優やモデル、デザイナーなど、多方面で活躍する水原希子さんを迎えました。CMへの登場をはじめ“胸の谷間”と“女性の幸せ”を追求するために発足した「谷間向上研究所」の所長としても今後さまざまな研究・活動をお手伝いいたします。



* ワコール調べ

2010年1月～2019年1月の納品実績

■ デイト

平野ノラさん『シンクロブラ』を着用し、 ランウェイで華麗なウォーキングを披露！

この春「Date. (デイト)」から『シンクロブラ レースタイプ』が新発売。恵比寿ガーデンルームにてファッションショー形式で行われた発表会にはイメージキャラクターの平野ノラさんが登場。

下着モデルとして初めてランウェイを歩き、フランスのニースで撮影したCMとともに話題を集めました。また「時代はズレても、ブラはズラすな。」のキャッチコピーで、オリジナルテレホンカードのプレゼントキャンペーンを展開しました。



■ CW-X

より美しく、健やかに。ヨガの時間を こちよくサポートする『CW-X YOGA』

健康が注目され、ヨガ人口が増えています。その市場に着目し、ヨガを実践する女性の悩みに寄り添い開発した『CW-X YOGA』が登場。ヨガの動きを考えたブラ・タイツをはじめ、ファッションとして楽しめるウェアなどをラインアップ。ヨガを通して自分自身と向き合い、心とカラダともに美しく健康でありたいと願う女性のニーズに応えます。



■ ワコール

旅を楽しむのに快適なリラックスウェア 『カナナプロジェクト』デビュー

ワコールは、エース株式会社が旅の達人・竹内海南江さんと共同開発したブランド『カナナプロジェクト』のリラックスウェアを2019年4月より発売しました。テーマは“ワクワクするおでかけを♪”。「睡眠シーン」と「移動シーン」に向け、旅を快適に楽しむアイデアが詰まったウェアです。エース様と共同で展開した売場は、母の日の贈り物として購入されるお客様でにぎわいました。

竹内海南江さん
(ブランドプロデューサー)

『世界ふしぎ発見!』のミステリーハンターとして世界100ヶ国以上をレポートする「旅の達人」。



Corporate Social Responsibility

1 「2019ワコール ブラ・リサイクル」。

2018年12月1日～2019年3月31日の間、国内の百貨店・下着専門店、ワコール直営店など約800店舗と、海外では、期間は異なるものの、タイの約370店舗、香港の約40店舗、シンガポールの約30店舗、フィリピンの約30店舗、マレーシアの約100店舗が参加。お客さまにご不用になったブラジャーを専用の回収袋（ブラ・リサイクルバッグ）に入れて店頭までご持参いただきました。

日本では約265,400枚のブラジャー（※）が回収され、RPF（産業用固形燃料）約26.5トンに生まれ変わりました。2008年～2019年の12年間の累計で約224.1トンにも及びます。

※枚数は、回収した袋の総重量に対して、ブラジャー1枚=100gで換算しています。



「ブラ・リサイクルバッグ」

「ワコール ブラ・リサイクル」については、下記URLをご覧ください。

URL

<https://www.wacoal.jp/braeco/>

ワコール ブラリサイクル



2 全国で「ピンクリボン・チャリティフィッティング」を実施。

2018年10月1日～31日の間、「ピンクリボン活動」の一環として、全国のワコールグループ約1,600店舗の売場で、「ピンクリボン・チャリティフィッティング」を実施しました。

期間中、186,670名のお客さまが492,684枚のブラジャーをご試着。1枚ご試着いただくごとに「10円」をお客さまに代わってワコールから公益財団法人日本対がん協会、認定NPO法人乳房健康研究会、認定NPO法人J.POSHに寄付いたしました。

公益財団法人日本対がん協会では、乳がん知識の普及啓発と啓発団体の支援、乳がん検診の推進、検診従事者の育成などに、認定NPO法人乳房健康研究会では、ピンクリボンアドバイザーの育成に、認定NPO法人J.POSHでは、乳がん患者の子どもたちの高校就学支援に役立てられる予定です。

ワコールの「ピンクリボン活動」については、下記URLをご覧ください。

URL

https://www.wacoal.jp/pink_ribbon/

ワコール ピンクリボン



3 「ワコール ツボミスクール」から「あらゆる世代へ向けたセミナー」へ。

小・中学生（小4～中2）とその保護者の方に、下着やからだについての基礎知識を学んでもらうために、関東・関西を中心に開催している「ワコール ツボミスクール」。成長に伴う変化に戸惑いや不安を感じる思春期の女の子に、正しい知識を身につけ、健康で美しい女性に成長してほしいという願いを込めて、2001年に始まった出前教室です。第71期は565回開催、参加者数は15,242名。ツボミからシニアまで、すべての世代に向けた啓発セミナーを展開しています。



「ワコールの啓発セミナー」については、下記URLをご覧ください。

URL

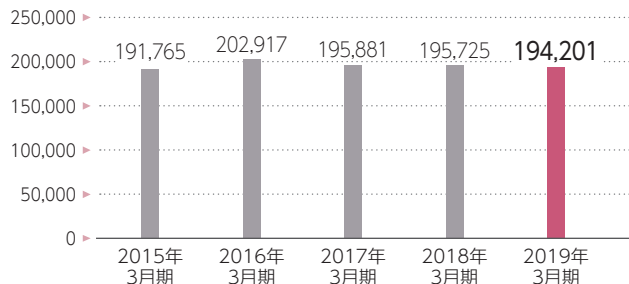
<https://www.wacoal.jp/demae-school/>

ワコールの出前教室



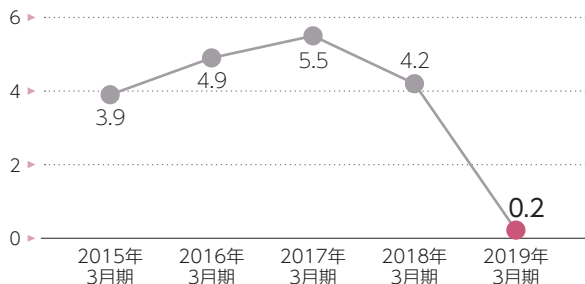
売上高

(単位：百万円)



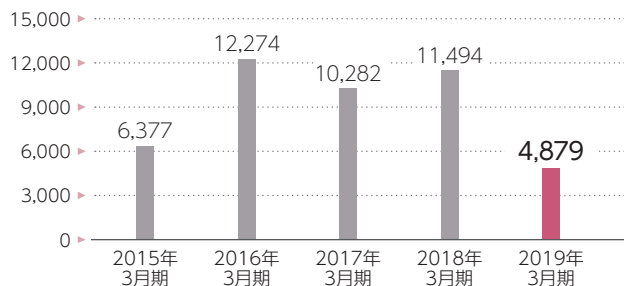
ROE (株主資本当社株主に帰属する当期純利益率)

(単位：%)



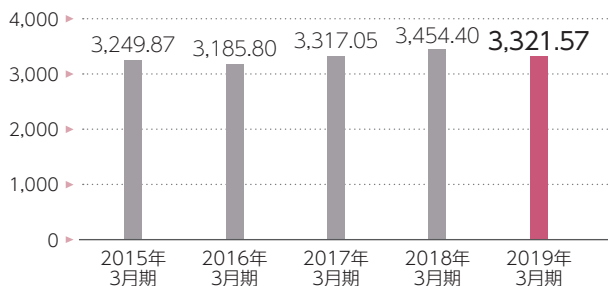
営業利益

(単位：百万円)



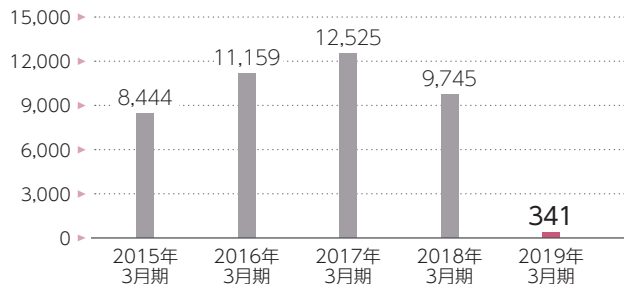
1株当たり株主資本

(単位：円)



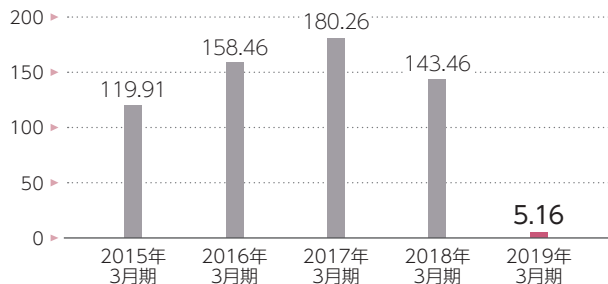
当社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



1株当たり当社株主に帰属する当期純利益

(単位：円)



(注) 1.当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2015年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり株主資本」および「1株当たり当社株主に帰属する当期純利益」を算定しております。

2.「期間年金費用及び期間退職後給付費用の表示に関する規定」(ASU2017-07)を2019年3月期の期首から適用しております。これに伴い、2018年3月期以前の数値を組替再表示しております。

連結財務諸表

(米国会計基準)

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (2019年3月31日現在)	前期 (2018年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	108,016	105,812
有形固定資産	53,270	54,333
その他の資産	120,481	138,389
資産合計	281,767	298,534
【負債の部】		
流動負債	43,862	39,632
固定負債	16,761	21,405
負債合計	60,623	61,037
【資本の部】		
資本金	13,260	13,260
資本剰余金	29,807	29,765
利益剰余金	193,139	172,418
その他の包括損益累計額	△ 4,128	28,597
為替換算調整勘定	1,551	2,274
未実現有価証券評価損益	—	27,424
年金債務調整勘定	△ 5,679	△ 1,101
自己株式	△ 15,584	△ 11,328
株主資本合計	216,494	232,712
非支配持分	4,650	4,785
資本合計	221,144	237,497
負債及び資本合計	281,767	298,534

(注) 記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	前期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
売上高	194,201	195,725
営業費用	189,322	184,231
営業利益	4,879	11,494
その他の収益・費用	△ 2,676	2,792
税引前当期純利益	2,203	14,286
法人税等	2,533	5,542
持分法による投資損益調整前 当期純利益 (△純損失)	△ 330	8,744
持分法による投資損益	725	916
当期純利益	395	9,660
非支配持分帰属損益	△ 54	85
当社株主に帰属する当期純利益	341	9,745

(注) 記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	前期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	13,620	15,493
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,474	△ 7,362
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 10,872	△ 12,303
為替変動による現金及び 現金同等物への影響額	372	△ 336
現金及び現金同等物 の増減額	646	△ 4,508
現金及び現金同等物 の期首残高	29,487	33,995
現金及び現金同等物 の期末残高	30,133	29,487

(注) 記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

株式の状況

Stock Information

(2019年3月31日現在)

株式および株主数

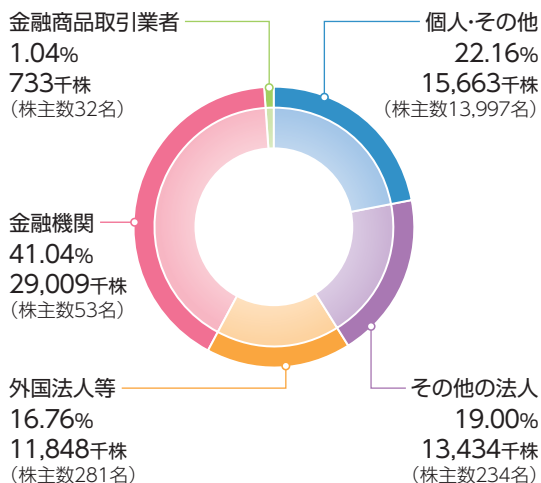
発行済株式数	70,689,042株
株主数	14,597名

大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱UFJ銀行	3,195	4.90
明治安田生命保険相互会社	3,050	4.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,870	4.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,851	4.38
株式会社京都銀行	2,352	3.61
日本生命保険相互会社	1,836	2.82
株式会社滋賀銀行	1,823	2.80
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,525	2.34
第一生命保険株式会社	1,366	2.10
旭化成株式会社	1,241	1.90

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式5,510千株を控除して計算しております。

株式分布状況



(注) 1. 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 個人・その他は自己株式を含んでおります。

会社概要

Corporate Profile

(2019年3月31日現在)

社名	株式会社ワコールホールディングス
創業	1946年(昭和21年)6月15日
設立	1949年(昭和24年)11月1日
資本金	132億6,011万584円
従業員数	20,662名(連結ベース)
本社	京都市南区吉祥院中島町29番地

主要グループ会社

国内連結会社		
(株)ワコール	(株)ランジェノエル	(株)トリーカ
(株)ルシアン	(株)Ai	ワコール流通(株)
(株)ピーチ・ジョン	九州ワコール製造(株)	(株)七彩
(株)ウンナナワール	北陸ワコール縫製(株)	ワコールサービス(株)
(株)ワコールミネット	新潟ワコール縫製(株)	(株)ワコールキャリアサービス

海外連結会社		
米国ワコール	ワコール(中国)時装	ベトナムワコール
ワコールインターナショナル(米国)	大連ワコール時装	フィリピンワコール
ワコールカナダ	廣東ワコール	ワコールシンガポール
ワコールドミニカーナ	ホンコンワコール	Aテックテキスタイル(タイ)
ワコールヨーロッパ(英国)	ワコールインターナショナルホンコン	Gテックマテリアル(タイ)

国内関連会社		
(株)ハウスオブローゼ		

海外関連会社		
台湾ワコール	インドネシアワコール	ワコールマレーシア
タイワコール	新栄ワコール(韓国)	

第72期の経営体制

取締役・監査役 (2019年6月27日現在)

代表取締役会長	塚本 能交	監査役	中村 友紀
代表取締役社長	安原 弘展	監査役	廣島 清隆
取締役副社長	山口 雅史	監査役(社外監査役)	白井 弘
常務取締役	宮城 晃	監査役(社外監査役)	浜本 光浩
取締役(社外取締役)	黛 まどか	監査役(社外監査役)	島田 稔
取締役(社外取締役)	齋藤 茂		
取締役(社外取締役)	岩井 恒彦		

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	上場証券取引所	東京証券取引所
定時株主総会	6月	証券コード	3591
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.wacoalholdings.jp/ir (ただし、事故、その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3-6-3 ・Tel 0120-094-777 (通話料無料) ご利用時間：土日祝祭日除く平日9時00分～17時00分 ・インターネットアドレス https://www.tr.mufg.jp/daikou/		

株式に関するお手続きについて

お手続き内容		お問い合わせ窓口
<ul style="list-style-type: none"> 氏名・住所の変更 単元未満株式の買取および買増請求 配当金の振込先指定 その他株式に関するお問い合わせ 	証券会社の口座で株式をご所有の株主さま	お取引の証券会社
	特別口座で株式をご所有の株主さま	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> 未受領の配当金に関するお問い合わせ 郵便物についてのお問い合わせおよび再送付のご依頼 	すべての株主さま	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

株主さまご優待について

ご優待の内容	基準日	発送時期
①下記通信販売の優待割引 (事前の登録手続き要) ワコール通信販売カタログ『LOVE BODY』 インターネット通信販売『ワコールウェブストア』 100株以上ご所有の株主さま 20%OFF(※1)	3月31日	秋号 (8月下旬) より年4回送付
	9月30日	春号 (翌年2月) より年2回送付
②ワコールエッセンスチェック (ワコール商品券) 500株以上1,500株未満をご所有の株主さま 3,000円分 1,500株以上ご所有の株主さま 5,000円分 3年以上継続して保有(※2)していただいている株主さまに対しては、上記金額分をそれぞれ1,000円分を加算してお送りします。	3月31日	6月末
	9月30日	12月初旬

※1 割引が適用されるご購入金額の上限額(割引適用前)は、年額100万円(税込)(7月1日～翌年6月末日の累計)となります。

なお、中間期で株主さまになられた場合も、適用期間は翌年6月末日までとなります。

※2 3年以上の継続保有とは直近7回のすべての基準日(9月30日および3月31日)において、同一株主番号で株主名簿に保有株式数(基準)が記載されていることをいいます。

配当金のお受け取りについて

配当金は口座振込でも受け取ることができます。

口座振込をご利用いただけますと、配当金の支払開始日にご指定の口座に振り込まれます。お手続きにつきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。



ピンクリボン活動(乳がん早期発見)をワコールは支援しています。

株式会社ワコールホールディングス